

令和元年度 第2回村上市地域包括支援センター運営協議会
書面協議結果及び質問等回答書

開催日：令和2年3月27日

回答：委員全員（11名）

協 議

・報告事項、資料1～7をご確認いただき、ご質問・ご意見等ございましたら、下記に記入くださいますよう、お願いいたします。

承認する（11） ・ 承認しない（0） ※どちらかに○印をつけてください。
<p>（ご意見がございましたら記入ください。）</p> <ul style="list-style-type: none">・（まずは限られた人員数の中で高齢者に関係する幅広い事業や施策に日々取組をされている職員の皆さんに対し感謝をします。）本来、会議の場で説明を受けながら委員の皆さんとやり取りをすれば全体のことが分かるので有難いのですが、設定できないことが残念です。1つ質問があります。お聞かせ下さい。（5）の在宅医療・介護連携推進事業について、同支援センターの構成員はどのような人達でしたでしょうか。また、いろいろな取り組みを何年かに亘り行ってきていますが、成果・効果をどのように捉えていますか。（特に対象となる人に対して） <p><回答></p> <p>地域包括支援センターおよび各支所の地域包括担当職員が兼務し、個別の相談事例の対応をいたします。「医療・介護連携」に特化して、活動集計を行ってはいませんが、年間1500～1600件の電話や来庁相談を受けている中で、介護保険や認知症、健康の内容の中に含まれていると考えられます。内容重複した数ではありますが、1100～1400件となります。</p> <p>「各自が望む最期」を実現できる人がどれだけいるかが成果・効果だと考えられますが、そのような調査までは行っておりません。</p> <p>今後も在宅医療推進センター事業と連動しながら、取組みを進めてまいります。</p> ・山北地区においては民間のタクシー会社が廃業し、移動に関わるサービス体制が困窮しております。大体のサービス拡充には時間がかかると予想され、「互近所ささえ～る隊」など相互扶助体制の整備が望まれます。 <p><回答></p> <p>代替サービスとしては、山北地区にお住いの障がい者や移動時に車いす等を必要とする要介護認定を受けた高齢者を対象に通院や入退院時に送迎を無料で行う</p>

サービスを暫定的に行います。

「互近所ささえ〜る隊」など相互扶助の体制の整備が望まれる」とご意見がありました。広大な面積を有する当市において、「移動支援」は地域の大きな課題となっています。1層協議体では、「移動支援」をテーマに、協議体委員、自治振興課職員等一緒になって先進地の事例や全国の取組を研修企画し、実施しました。まだ具体的な動きは見えてきていませんが、今後も継続していきます。

「互近所ささえ〜る隊」は、「地域における助け合いのしくみづくり」を働きかける協議体として、今後もまちづくり協議会と連携し、地域に働きかけを行ってまいります。

- ・在宅医療・介護連携推進事業について、県訪問看護協議会下越支部で看とりのパンフレット作成している。新発田地域在宅医療・介護連携推進センターの協賛であるが、村上市ステーションでは、村上市内でも活用させてもらいたいと考えています。

<回答>

在宅医療・介護連携において、「看取りパンフレット」の活用をとということですが、可能であればそれをもとに村上地域版を作成し、R2年度の住民向け普及啓発講演会で、参加者に配布したいと計画しております。

- ・認知症施策について、高次機能障害の方も含めた取り組みにはなりませんか。

<回答>

実際にケースとして把握しておられるようであれば、ご相談いただければありがたいです。数は少ないですが、県内の研修会等もございます。若年発症だったり、家族も介護や日々の対応で悩まれることも多いと思います。家族や支援者のチームに伴走者として寄り添いたいと思います。

- ・新規で要介護認定を受けた方が、介護サービスを使い、どの程度状態が改善しているのか。以前、地域ケア会議の研修講師で横田 OT が「介護サービスを使ってどの位改善し、卒業していく人がいるのか」と話されており、実際はどうなのかと思っています。状態が改善しても、なかなか「卒業」には結びつけられない現状です。

<回答>

現状では状態改善しても、卒業できない状況とのことですが、市としても同じように感じています。地域に重度者も受け入れる居場所がないということ、一度利用したら別のサービス利用は億劫など様々な理由があると感じています。更新申請後、要介護度が改善したのに、これまでのサービス利用ができなくなると区分変更申請される方もいます。介護保険認定申請時や元気なうちからの普及啓発

が大事だと考えています。

- 業務が多岐にわたっており、大変だろうと思います。様々な職種や施設と協力して頑張ってください。住民にとっては、とても助かっている仕事です。

<回答>

大変ありがとうございます。

今後とも御理解、御協力をお願いいたします。